

## ◆学校再編に係る地域座談会（津山町域）意見・質問等

		意見・質問	回答
柳津小学校	2016/2/19	未就学児の保護者等の意見を聞いたほうが良い。	実際に学校生活を子どもたちと一緒にされている保護者の意見を伺うべきと思い、先ずは、小中学校の保護者からとした。
	2016/9/6	中学校の再編も検討して欲しい。	本来であれば中学校についても考える必要があるが、津山中の座談会に出席した保護者は、3年間しか在籍しないので小学校の保護者に考えてもらったほうが良いという声も聞かれたので、進めるのが困難であると思っている。
横山小学校	2016/2/13	しっかりとした学力をつけるための再編であって欲しい。	学力の向上についても含めて考えていきたい。
		2つの地域の統合でそれぞれの地域性があるので学校関係者だけでは納得を得られないと思う。地域住民と地域の考えを含めた上でまとめるよう配慮して欲しい。	基本的には小中学校の保護者の皆様の同意を得てから地域の皆様への説明と考えている。
津山中学校	2016/1/26	小規模な学校が大規模な学校と統合となると小規模のほうの生徒がいじめに会うのではないかという懸念がある。	統合が決まったら関係校同士で定期的に行事を開催するなど、両校の生徒が仲良くなる機会を作っていく必要があると考えている。リスクがあればそれに対するケアはしっかりしていかなければならない。
津山町域	2016/9/27	少人数学級の方が教育効果が高いのではないか。	学校規模によって学力に差が出ているということはないが、ある程度の規模がある学校の方が教員は位置もでき、教育活動の充実が図られると考えている。
	2018/1/25	学校再編について保護者と何回ぐらい話し合ったのか。これからはどのくらいの回数を目標に考えているのか。	保護者説明会は市内全部で47回行いました。津山地域におきましては、小学校で4回行いました。今後は、学校再編基本構想を策定した後に、対象となる地域において、回数を決めずに意見交換会を開催いたします。

## ◆学校再編に係る地域座談会（津山町域）意見・質問等

	意見・質問	回答
	保護者意見交換会では、どんな問題点があったのか。	早く進めた方が良いという意見と、もう少しそれぞれの学校の特色を生かして学校を運営して行った方が良いという2つの論点で話し合いが進みましたが、それらの考えが1つになることはありませんでした。保護者だけでは決めかねるということになりまして、地域の皆様と意見を混ぜながら、話し合いをした方が良いのではないかという意見もありました。
	実際に大まかな予定はあるのか。	現在のところは、何も決まっておられません。
	教育委員会として小中一貫校をどのように考えているのか。	市内では豊里小中学校が小中一貫校で、新田小学校・新田中学校が校舎併設型の小中一貫教育校ということになります。単学級の中学校を残すための小中一貫校、小中一貫教育校は教育委員会として考えておりません。
	現在の小中一貫校をどのように評価しているのか。	小学生と中学生が一緒に生活することによって、心が穏やかになるという効果があります。そのことにより、生徒指導上の問題が少なくなっていることが大きな成果です。学習面では、英語教育を特徴的な取組として行ってきました。中学生の英語暗唱弁論大会では、優秀な成績を取ることが多くありました。社会性の部分については成果が見られましたが、学力の部分では飛躍的な向上は見られていない状況です。
	やむを得ず統合した場合に、統合された後の学校の活用をプランに入れて考えてほしい。	地域の皆さんと本気になって考えていかなければならないと思います。全国の例を集めているところですが、新しい活用方法なども考えながら示していきたいと思います。
	学校と地域には壁があるように感じるが、それを取り除くようにしたほうが良いと思う。	登米市の学校の教員は大変忙しい状況です。それを解消するため業務改善加速事業という文科省の事業を行い、教員がやるべきこと、教員がやるべきであるが他の人をお願いしてもいいこと、教員はやらなくて他の人をお願いできることの3つのくくりで、業務を見直そうと考えています。具体的なことについてはこれからのことなので、検討中でございます。
	保護者の意見交換会の議事録を載せてほしい。	要点筆記という形で出していきたいと考えています。

## ◆学校再編に係る地域座談会（津山町域）意見・質問等

		意見・質問	回答
		平成30年9月までに基本構想ということで計画されているが、こちらの意見交換会の案内文書は毎戸配布となるのか。	対象の町域に関しましては、毎戸配布で案内状を配布いたします。
		市の若い人の数を増やすというような政策はどのようになっているのか。	登米市としては、子育て支援策や医療費の無償化、定住政策も考えております。しかしながら、すぐ効果が現れるというわけではございません。
		地域の特性を活かした教育について、学校がなくなった地域の活性化が後退しないように話し合いはしているのか。	市内の全ての学校を再来年の春までにはコミュニティ・スクールにする構想を持っております。地域の方々が学校運営に参画することで、学校教育がさらに充実するものと考えています。また、今までは地域から協力をもらうばかりで、学校が地域に出向いていくということが比較的少なかったことで、今回コミュニティ・スクールを作ることによって、学校から地域に出向いていく活動が増えていくことと思いますので、地域もにぎわっていくのではないかと考えています。